

立って弾く



ステージに立つ際には、猫背にならず、なるべく顔を上げ、広く観客席を見渡せるようにするのが理想です。緊張して両肩が持ち上がってしまうのもカッコ悪いですね。上半身は常にリラックスした状態にしていた方が、両手の動きも自由になります。

初心者特に知っておいて欲しいのは、ベースを弾くために適したストラップの長さは「長くもなく短くもない中間的な長さ」ということです。手首や指の関節の柔軟性や演奏をするためにも、必ず中間的なストラップの長さで構えましょう。

構える高さ

ロックベーシストに多く、ピック奏法にも適した「低めのフォーム」は人気も高いのですが、ハイポジションでの演奏には向きません。指板を見ようとする視線が真下に向くのも難点です。ネックがおへその前を通過するくらいの「中間的なフォーム」が、初心者におススメの長さです。「高めのフォーム」はスラップ奏法に適したフォームです。

●低めのフォーム



●中間的なフォーム



●高めのフォーム

